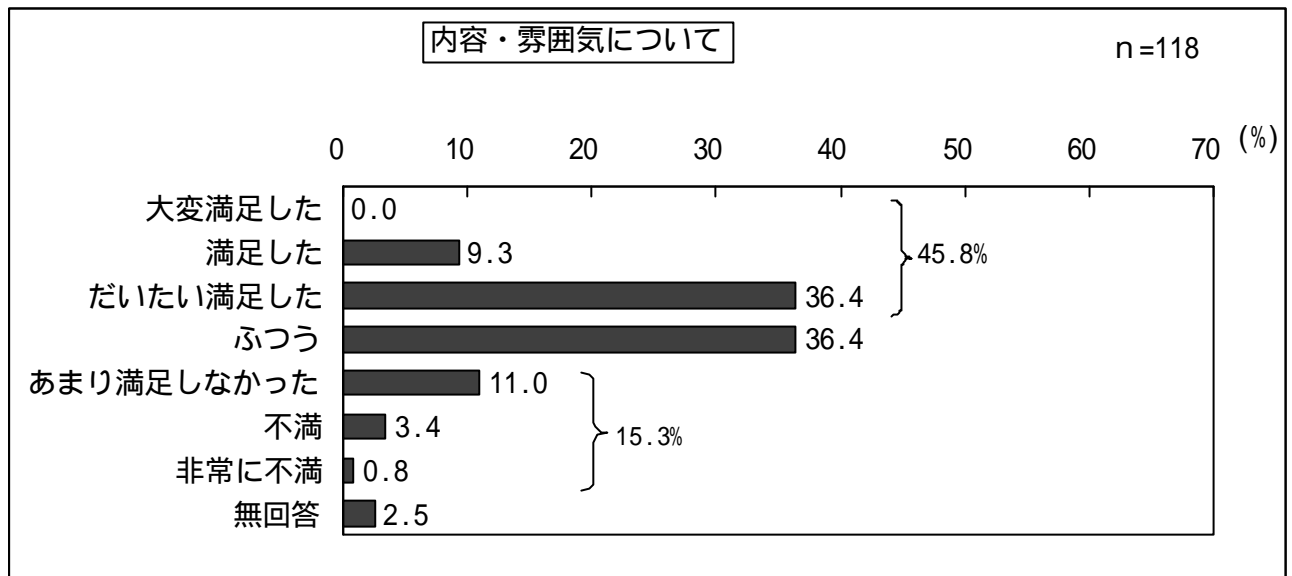
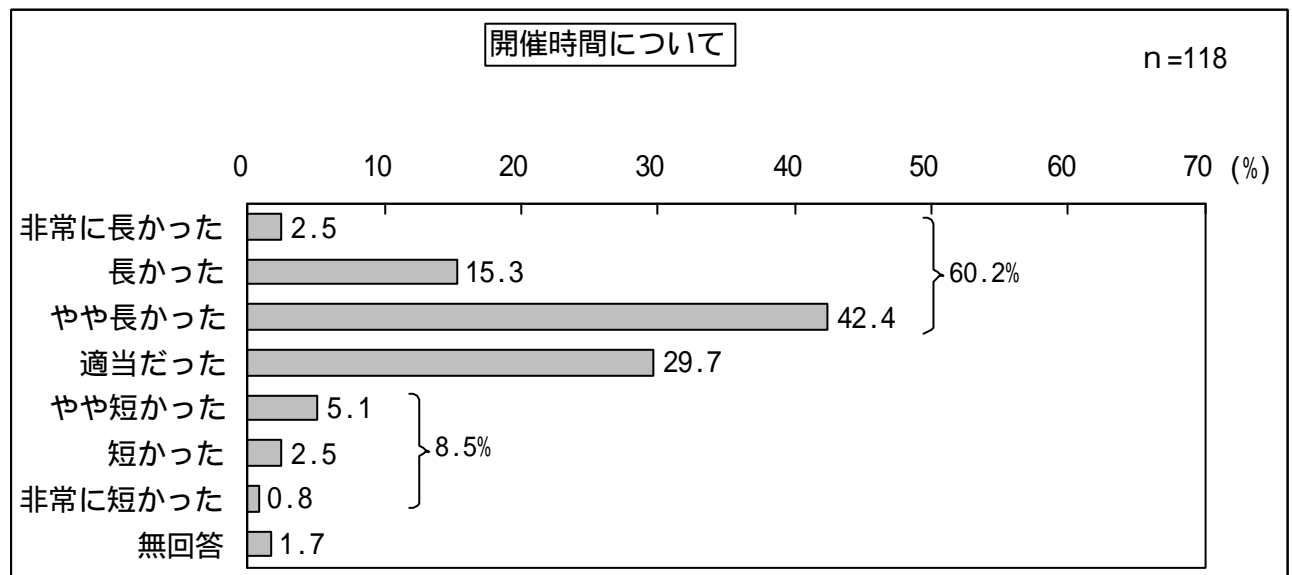


「市民参加懇談会 in 敦賀」アンケート結果

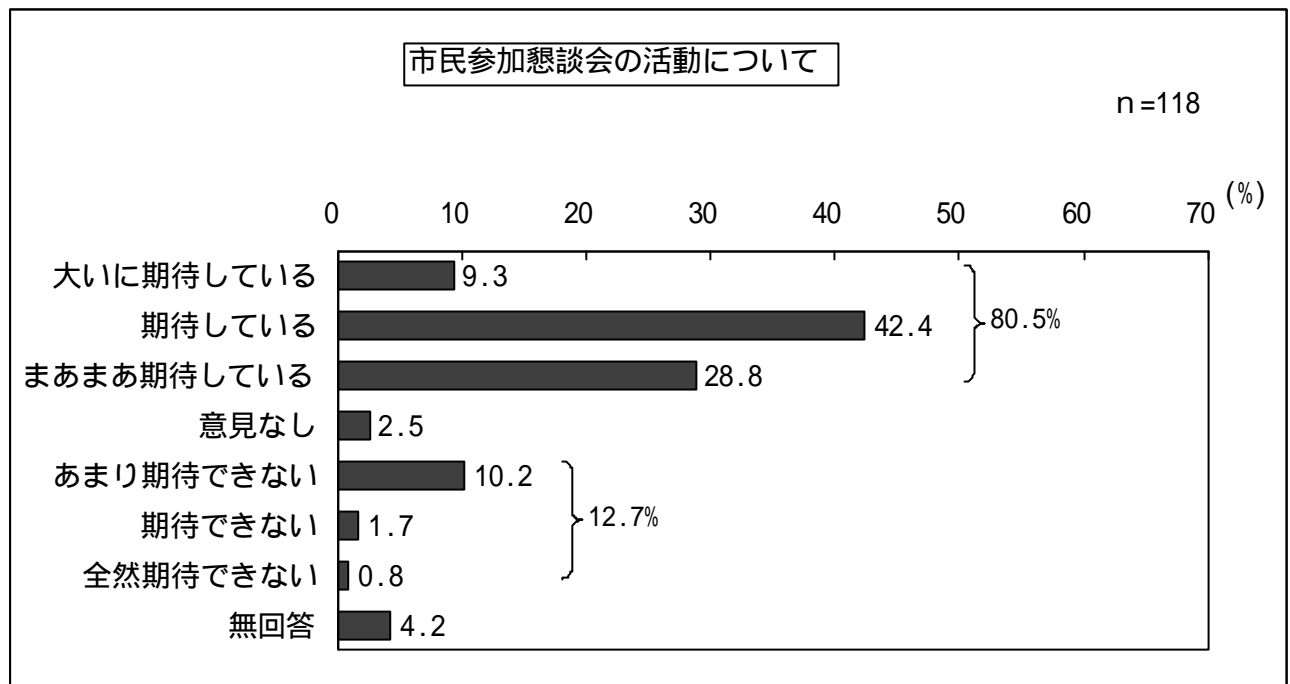
1. 本日の「市民参加懇談会 in 敦賀」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付けください。



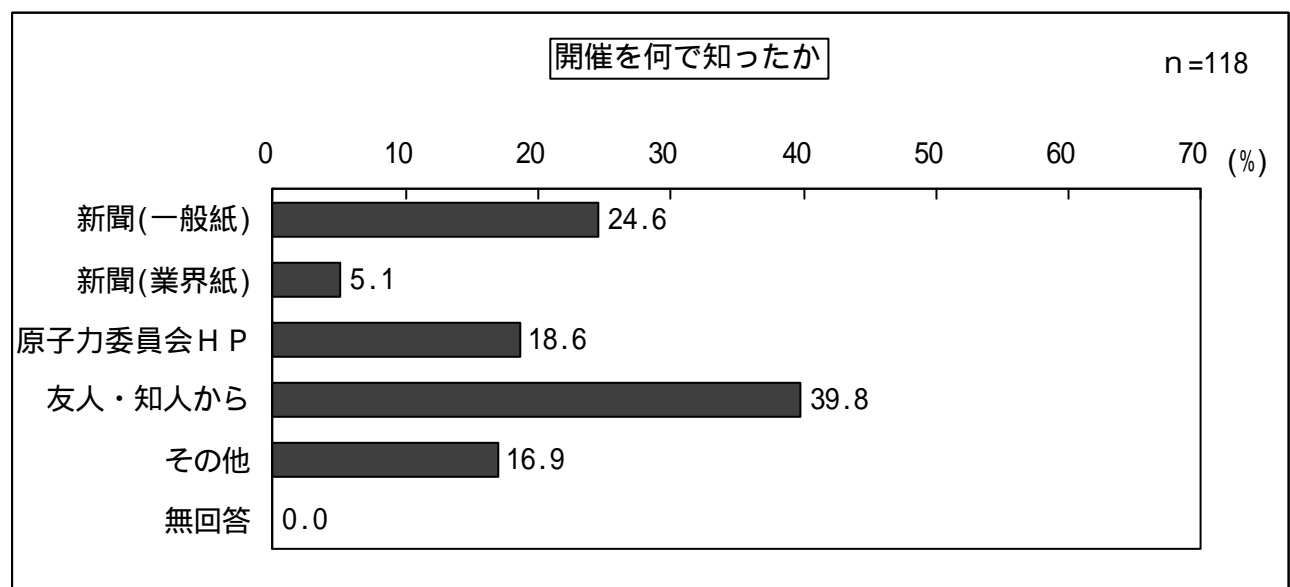
2. 本日の「市民参加懇談会 in 敦賀」の開催時間（4時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をおつけ下さい。



3．今後の市民参加懇談会の活動について、あなたはどう思われますか。あなたのお考えに最も近いものの番号に 印をお付けください。



4．本日の「市民参加懇談会 in 敦賀」の開催を何でお知りになりましたか。



5. 本日の「市民参加懇談会 in 敦賀」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

小中学校等をはじめとするエネルギーに関する教育のあり方。(男性 40～50 代)

今回のテーマにあまり関心のある人がいなかったのではないかな。テーマは 1 つにせず 2～3 あった方がよい。(男性 40～50 代)

もんじゅを早く起動して欲しい。(男性 20～30 代)

地方でやる場合には発言する人がいつも同じになり、今の方法でやる意味があるのか。無作為で選んで話を聞くなり、方法(難しいが)を考えるべき。(男性 40～50 代)

敦賀市民の意識の高さが伺えた。危険を前提として、そのあり方考えることが重要。原子力委員会の答えを期待する。(男性 20～30 代)

第 1 部が少し長いなと感じた。第 2 部では議題である原子力のプラス面とマイナス面についてということが殆ど話題にあがらず、原子力の是非についてばかり集中しているのが疑問に残る。もう少し質問する一般人を配慮して欲しかった。(男性 20～30 代)

地域振興費として国庫予算として 1500 億/年使われているのは驚き。このような形を継続すれば、原子力の定着、消費地とのカイリは益々大きくなる。日本のエネルギーをどうするか、地球環境をどうするか。国民が同じ土俵で論議することが重要。(男性 40～50 代)

より中立的な立場で進めていただき、無関心と言われる人々にも全てに関心を持たれるような説明と結論を出していただきたい。(男性 20～30 代)

もっと市内居住の区長さん、婦人団体、PTA の方々に出席を求めるなどして、ご意見を聞くなりする事を考えるべきだと思います。(男性 40～50 代)

核燃料サイクルの理想と現在の状況とのギャップについて、国民にも分かるように示して欲しい。(女性 20～30 代)

「安全・安心」…官、企業、施設のある地域、消費地域で大きな温度差があります。特に施設のある地域の「安全・安心」への対応は他の所より必要と思います。信頼に繋がります。そんな意味で大消費地である首都地域の「今夏の電力不足」は何かを考えてくれるであろうプレゼントとすべきです。(男性 40～50 代)

原子力はやはり必要であり、もんじゅの研究開発も継続して行っていくべきだと思います。国の主張など期待しています。(女性 20～30 代)

幅広い意見が聞けて勉強になった。(女性 20～30 代)

学校教育におけるエネルギー教育の欠落、充実の必要性。

「もんじゅ」は何故動かせないのか。政治に利用されている。

「一般」市民でなく「特殊」市民の意見が多すぎた(感想)。(男性 40～50 代)

テーマと関連性が薄い内容であったように思う。(男性 40～50 代)

パネリストに若い方を入れられたら良いと思います。(男性 40～50 代)

反対派の意見が多く、一般市民の声が小さいことが残念であった。(男性 40～50 代)

私は、九州の高校を卒業後電力会社に就職し、31 年間地元の美浜町で生活しながら原子力発電所の仕事をしています。私達は地域の方々に支えられています。その一例ですが、私の子供がまだ小さい頃の事、事故対策本部につめて毎日のように午前 2 時 3 時に帰宅する生活が続き、朝起きると新聞の 1 面に大きく取り上げられる記事に、いつまで続くのだろうとの

つらい思いを家族に与えました。出勤の際、地域の皆さんからすれ違う際に「たいへんですね。頑張ってください」と暖かいお声がけをしてくれました。本当に頑張れました。これが、私の、原子力で働く者としての地域での生活の原点です。今は、村の団体の役員や地域の高校のPTA役員等いろいろな事で地域と深く関わって生活しています。今回のような地域懇談会も一つの方策であり、地道に継続してほしいと思います。(40～50代・男性)

何ととっても今回は若い人の発言が良かった(高野さん)。今後も若い人に発言してもらうようにしてはどうでしょうか。(男性 40～50代)

本会期待していたが、テーマ以外の話が多すぎる。テーマについて聞く目的だった事から不満足。(男性 40～50代)

原発と地域振興について、掘り下げが出来なかった。今回を切り口に更なる討議の深まりを期待したい。(男性 60代以上)

テーマにそくした討論が少なく残念であった。マイナス意見は単に原子力発電を廃止すればよいのかどうか良く分からなかった。(男性 40～50代)

OHP、スライドでビジュアル面からデータ紹介すべきだった。参加市民の基礎知識が欠如した人も多く問題を感じた。(女性 20～30代)

今回参加できて大変良かったです。原子力の良い所、悪い所を詳しく発表して聞かせていただきとてもよかった。これからも何の会でも参加したい。ただ、もう少し質問している事に答えて欲しい。今日のテーマに関わりなく。(女性 60代以上)

敦賀市民としては原子力が安全・安心という事にこだわりはない。事故について(あらゆる)安心、どの程度の事故か、どの程度の影響があるのか、影響を受けたらその程度で回復出来るのか。(原子力事故の場合は放射線の影響が主でしょうか)。

地域社会の(+)(-)という議論はされなかったに等しい。(男性 20～30代)

第1部が長い。原子力が国民・市民の高さで議論出来る段階にようやく入ってきた感がある。原子力より「日本のエネルギー」に視点をおいた教育に期待する。最後の電力からの発言は必要ない。(男性 40～50代)

地域の将来について、その可能性について、もっと議論したいと思いました。(男性 40～50代)

懇談会のこれからの期待します。『市民参加』の意図が分かりにくい。「市民参加拡大原子力委員会」の略称でもないでしょう。「かみ合ってきた」懇談会となりますように期待します。(男性 40～50代)

第一部の時間を短くしたほうがよい。1時間以内、後半(2部)に時間をかけたほうがよい。(男性 40～50代)

パネリスト等は壇上に上がった方がよいのではないかと。(男性 40～50代)

環境破壊防止(温暖化)のためにも、今後もっと原子力が必要です。(男性 40～50代)

第2部では具体的なプラス、マイナスの話が聞けず残念だった。もんじゅをはじめ原子力の将来については皆興味あるようだが、地域の人々は結局プラスもマイナスもない様に思える第2部はナンセンス。(男性 20～30代)

小・中・高で提供した知識を大学で完結する意味でも、福井で学べる場、研究する場を提供できればよいと思います。大いに期待しています。(男性 20～30代)

茨城県との比較で、炉に限定されて産業が広がっていないことに対して、今後は炉とサイク

ルと一体としてとらえるべきではないかという指摘があった。賛成するが、放射能への不安を取り除き光を当てる努力が特に強く求められ、何らかの国の支援、ビジョン提示がいると思う。(男性 40～50 代)

第一部と第二部の時間配分を見直す方がよい。第一部は一時間以内で議論を中心に。(男性 40～50 代)

橋詰論説委員の発言。橋詰さん、このような会場へどんどん参加し、ジャーナリストとしての主張を述べてください。期待しています。(男性 40～50 代)

原子力発電を迷惑施設と捉えないで、地域の利益になるには、どう利用していったら良いか考えていく必要がある(行政も住民も)。もんじゅを長期に止めておくことは、国益の損失である(財政、人材および時間)。(男性 40～50 代)

反対する意見のオンパレードになりがちな同様の会合であったが、賛成、推進意見が多かったのが感動した。(男性 40～50 代)

テーマに内容があっていなかった。発言者のモラルの低さにガッカリしました。ルールを守れない発言や、内容が合わない発言が多すぎる。(男性 20～30 代)

原子力の教育等、原子力発電所を多数かかえる福井県にとって、どうあるべきかということ。発電所がある事によって地域にとって足かせになっている。福井県は色々な種類の原子炉があり、放射線関連を学ぶには最適な場所なのに、原子力関係を学ぶ所が少ないのは残念である。報道機関にも原子力部署(専門員)をもうけて市民を安心させて欲しい。(男性 20～30 代)

地域社会におけるプラス、マイナスというテーマに沿っての論議があまりなされなかった様に感じた。(男性 20～30 代)

原子力が地域にもたらすプラスとマイナスを考えるとというテーマは馴染まない。なぜなら、原子力委員会が主催であることから原子力政策等について原子力安全委員会との意見交換を望んでいるものであり、地域振興みたいな話は原子力委員会には期待していないし、回答も出来ないであろうから。(男性 40～50 代)

テーマが「原子力と地域社会」であるから、発言内容もテーマに即したものに限定すべき。オープンテーマのセッションを別に持つなど工夫が必要。(男性 40～50 代)

もっと掘り下げた教育問題(どうすれば効果が上がるか)。国(内閣府、経産省、文科省)または法・指針間の矛盾の議論。(男性 40～50 代)

パネラーはボランティアで参加されているのか？司会者はなぜ、いつでもどこでも中村氏なのか？国策＝「長計」という根拠は？廃棄物問題をなぜ当地で正面から取り上げないのか？NUMO の秘密体質は由々しき問題。(男性 40～50 代)

原子力発電が是か非かの話ばかりで、地元の活性化の話がなくて、これからのメリットについての話がなくて残念です。(女性 60 代以上)

立地地域の中学生、高校生にエネルギー・原子力について勉強する場所を与え、大人の考えを入れず、子供達の意見を求められる様に指導くださり、子供達に希望を与えてください。(男性 60 代～)

原子力を進めるための懇談会、茶番だと感じました。話したいことはありましたが、話せば必ず反論され、それに対して言い返す場も与えられないからです。最後の電力会社の挨拶を聞きやっぱりという感じです。(女性 20～30 代)

原発推進については推進するならする、しないならスパッと全部止める。推進するなら(安全を確認した上で)その見返りも充分にしてもらおう。高速道路、新幹線、予算がないなら交付金を使えばよい。安全性を確認した上で大いに推進すべし。(男性 40～50 代)

参加者の意見はテーマからずれているものが多かったですね。殆どが業界の人と反対の人しかいなかったから仕方ないと思いますが。大変ですが頑張ってください。(男性 20～30 代)

原子力委員会としての国の原子力政策については、電源地域に対してどのようなタイミングで説明を予定されているのか。市民が原子力政策をきちんと聞ける場を設けるべきで、その次に市民が政策に対してどう思うかを聞くことが順番ではないか。(男性 20～30 代)

市民代表として平山さんを出しましたが、なぜ平山さんですか。市民の代表ならばもっと異なるいろんな意見の所有者も出すべき。敦賀市民として不満。パネラーの人选に問題あり。(男性 60 代以上)

あっという間に終わった感じでした。今までと違った市民参加懇談会という思いでお聞きました。またお願いします。(女性 60 代以上)

原子力エネルギーが必要なことは判っているのに、なぜ嫌われるのか。突き詰めて議論したい。(男性 40～50 代)

テーマと実際のやりとりがマッチしていない。ある特別な意見を持った人、その発言の場となっており、一般市民の(反対派)の生の意見があまり聞けないと思った。(男性 40～50 代)
もんじゅが国際レベル 1 なのに何故 8 年も止まっているのか。の質問があったが同感です。(男性 60 代以上)

質問の場になってしまっている。テーマと違う質問、意見は排除するなど、始めに条件をつけて進めて欲しかった。今回地域にもたらすプラス、マイナス要因として新しい意見を国も含めて聞きたかったが非常に残念である。関係のない質問は別途文書で回答してもよいのではないか。(男性 40～50 代)

第 2 部の質問時間では言いたい事も言えないのでは。思っていることは全て質問できるような Q & A を。(男性 40～50 代)

同じテーマについて各地でやるべきではないか。市民の方々同士で懇談したほうがよい。第 1 部は一体何をターゲットとしていたのか。まとまりがない。懇談会はテーマと噛み合っていない。(男性 60 代以上)

本種の懇談会参加者はややもすると関係者の参加者が殆どで、一般の市民がどれほど参加しているか疑問。原子力に一般の関心を持たせることは難しい。まして会場を作って足を向かわせることはもっと難しい。市民ネットワークによる自主勉強会、時間を拘束する見学会が有効。(男性 60 代以上)

もんじゅの早期改造工事着工を実現して欲しい。(男性 20～30 代)

規制部門を独立性の強いものとする。サイクル機構はもんじゅにこだわるべきではない。賛成・反対のフェアな発言者構成にすること。(男性 40～50 代)

私は、電力会社に就職し地元で生活しながら原子力発電所の仕事をしています。私達の子供達は、訓練、試験、夜勤、呼び出し、一生懸命やっているのにボロクソにたたかれるようなお父さんの仕事はしたくないという者がほとんどです。我々自身が、原子力で電気を送る仕事のやりがいを伝える事ができないのがいけないのですが、感受性の高い子供達が原子力をどう感じているかです。教材にエネルギー問題をとり入れても、福井の大学に学科をもうけ

ても、原子力がやりがいがあってカッコよくなくては続きません。地域の子供達が、おらが村の発電所で働くんだという希望のもてる環境が必要です。(40～50代・男性)

パネルディスカッションは1時間にしたらよい。発言ルールをもっと徹底したほうがよい。地域のプラス・マイナスのやりとりは極めて少なく、当初目的は達成されなかったと思う。一部の方の自己主張の場になってしまった感じであり、建設的な意見が少なかったのは残念。(男性 40～50代)

敦賀の地元で継続的な懇談会を望む。また期待する。もんじゅの再起動を期待します。敦賀3,4号の早期着工を期待する。原子力発電は地元雇用を拡大することから前記3点よろしく願います。(男性 40～50代)

主旨に外れた議論が多く、また専門的立場の人の質問が多く、本当の意味での市民参加という感じがしなかった。この会の開かれた目的があまり分からなかった。(男性 20～30代)
第一部の時間が長すぎ。第二部の時間に回したほうが良かったと思う。地域にもたらすプラスとマイナス面に関する質疑がなかったのは残念だった。(男性 20～30代)

今日は色々な立派な先生方の意見をお聞きできて良かったと思います。一般市民の質問も反対の方が少々多いと思いましたが、市民の方でとても良い質問をされた方もあり良かったと思います。これから若い人達の時代に必ず原子力が必要になります。(女性 60代以上)

住田先生が原子力交付金の使い方、地域振興に大胆な発想で取り組むべきと言われた。企業誘致等の発想転換、重電系の工場がないとの地元の声もあったのは面白かった。

ゲストが長々と話をするのはルールに反していて不愉快。(男性 40～50代)

原子力がない場合どうなるかという事をもっと前面に出して考えていく必要があると思う。私は原子力の安全も大切であるが、原子力がない場合の将来のエネルギーとか、地域産業に大きな不安を感じる。プルサーマルを止めた場合、核燃料サイクルを止めた場合はどうなるか。分り易く示す必要があるし、国民に問いかける必要もあると思う。(男性 40～50代)

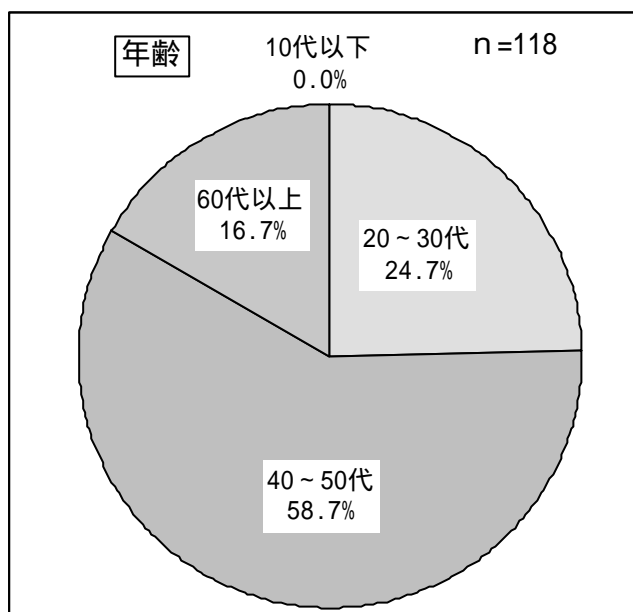
敦賀の原子力で働くものは皆プライドを持っています。これが最大の原子力がもたらすプラス面です。自治体としては税収など経済面があると思いますが、雇用されたものは国民生活の基盤を支える電力 原子力エネルギーに関われることに強い誇りを持って仕事をしています。(男性 40～50代)

もんじゅの開発はとても重要。反対のための反対にはうんざり。(女性 40～50代)

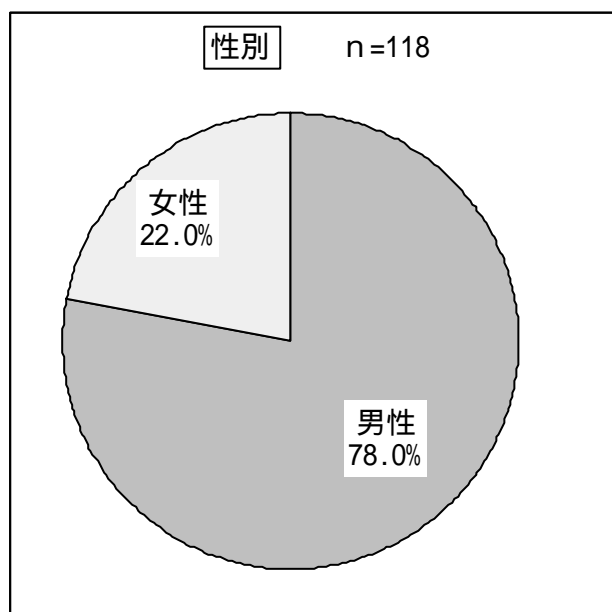
もんじゅの運転再開と地元雇用について。(男性 40～50代)

6. 差し支えなければ、お答えください。

(1) 年齢



(2) 性別



以 上